

平成26年度 教育・研修委員会活動報告

2014年4月に新設され、学会員の教育と研修活動を推進する活動を行っている。

委員 大賀 正一（委員長）、堀 浩樹（副委員長）、大植 孝治、上條 岳彦、康 勝好、
笹原 洋二、副島 俊典、森 鉄也、柳澤 隆昭、矢部 普正（敬称略、50音順）

活動報告

学術集会において、小児血液・がん専門医の取得と更新のため10領域を網羅した「教育セッション」を計画した。若手を育成するため、“緩和ケア事業”（2014年4月-2015年3月、2015年4月-2016年3月）の一貫として開始した「小児血液・がんセミナー」を全国7か所で開催している（ポスター資料 2014年-2015年分）。

1. 2015年本学術集会における教育セッション

演者、演題および座長を選定し、プログラム委員会および専門医制度委員会と連携して第56回日本小児血液・がん学会学術集会の教育セッションを終え、第57回同学術集会の教育セッションを企画した。第57回は「感染制御」「医療安全／研究倫理など」を追加し、脳腫瘍各論の継続プログラムを開始した。

3年間の教育セッション各領域

1年目(H26)	神経芽腫	倫理・研究	ALL	免疫
	骨腫瘍	放射線治療	MDS/AA	
	その他の腫瘍	感染・輸血	血小板系疾患	
2年目(H27)	腎腫瘍・肝腫瘍	統計・疫学	AML	造血・発生
	脳腫瘍	移植療法	組織球症	
	胚細胞腫瘍(CNSを除く)	緩和・社会支援	凝固異常	
3年目(H28)	軟部腫瘍	診断/病理	リンパ腫	腫瘍生物学
	眼腫瘍	化学療法	赤血球系疾患	
	外科治療	QOL・長期フォロー	免疫不全症	

2. 教育セミナー「小児血液・がんセミナー」の開催状況

全国7ブロックで、講演と症例呈示による参加型セミナーを開催している。学術集会の「教育セッション」と同様、“小児血液・がん専門医”と“小児がん認定外科医”の5単位を取得することができる。小児血液がんの広い領域にわたる3つの特別講演と各1-2題の症例呈示を企画し、討論参加型のセミナーを行っている。学会ホームページから全国どのセミナーにも申し込みが可能である。症例呈示の筆頭発表者に旅費の支出が可能となった。

本セミナーの開催にあたりましては、各地の世話人の先生方と小児がん拠点病院の皆様には多大なご支援を頂いております。心より御礼申し上げます。

今後とも宜しくご指導のほどお願い申し上げます。

2014-2015年 「小児血液・がんセミナー」開催

地区	担当（敬称略）	日時	場所	終了
九州山口	大賀正一	2014年8月3日（日）	下関	終了
中四国	小田 慈	2014年9月21日（日）	岡山	終了
東京	康 勝好	2014年10月19日（日）	埼玉	終了
北海道	小林良二	2014年10月25日（土）	札幌	終了
中部	堀部敬三	2015年2月7日（土）	名古屋	終了
近畿	大植孝治	2015年2月14日（土）	京都	終了
東北	笹原洋二	2015年3月22日（日）	仙台	終了
九州山口	盛武 浩/大賀	2015年8月2日（日）	宮崎	終了
関東甲信越	康 勝好	2015年10月25日（日）	埼玉	終了
北海道	小林良二	2015年10月31日（土）	札幌	終了
近畿	大植孝治	2015年11月7日（土）	大阪	終了
中部	堀 浩樹/堀部	2016年1月30日（土）	名古屋	終了
中四国	嶋田 明	2016年2月14日（日）	岡山	終了
東北	笹原洋二	2016年3月20日（日）	仙台	終了

3. その他

専門医のための小児血液・腫瘍学テキストがまもなく上梓される。

2015年11月2日 文責 大賀正一

資料

